

平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関する ワーキンググループ（案）

○趣旨

水害や土砂災害が広域かつ甚大に発生し、平成に入り最大の人的被害をもたらした平成30年7月豪雨を教訓とし、激甚化・頻発化する豪雨災害に対し、避難対策の強化を検討するため、防災対策実行会議の下にワーキンググループを設置。

○メンバー

- ・学識経験者（防災、気象、情報等）
 - ・地方公共団体
- ※オブザーバーに関係省庁

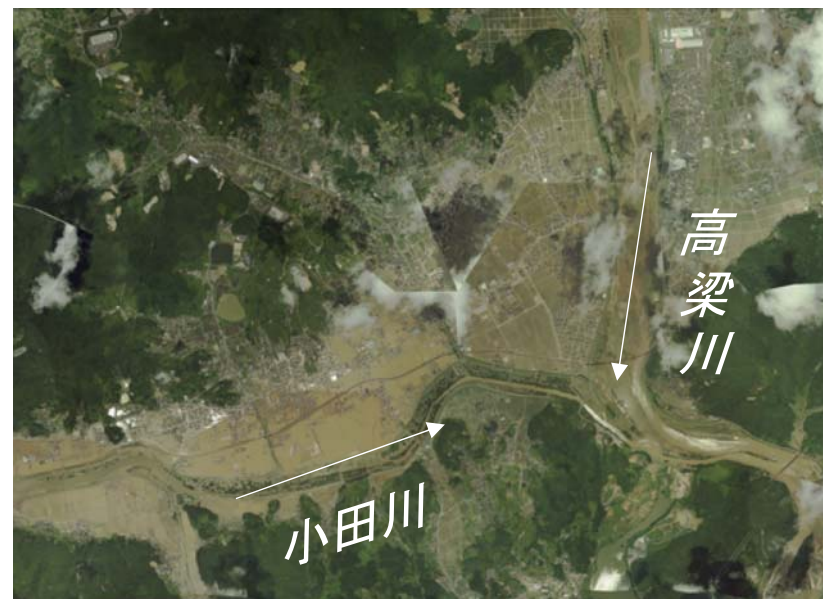
○論点（案）

- ・防災気象情報等の情報と地方公共団体が発令する避難勧告等の避難情報の連携
- ・災害リスクと住民の取るべき避難行動の理解促進（防災教育、防災訓練）
- ・高齢者等の要配慮者の避難の実効性の確保
- ・防災情報の確実な伝達 等

※関係省庁の取組と連携し検討を実施

○スケジュール

- ・9月～10月 第一回WG
- ・年内に中間とりまとめ



【被災状況】岡山県倉敷市真備町周辺 提供：国土地理院



【被災状況】広島県安芸郡坂町小屋浦周辺 提供：広島県